

しょう4 こくご「詩・短歌を読む」 その2

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

1 つぎ 次のうち、秋を表す季語は？

ア さくら イ 雪^{ゆき}だるま ウ もみじ エ せみ こたえ _____

2 短歌は五・七・五・七・七の音でできています。全部で何音？

こたえ _____

3 詩で、いくつかの行が集まったまとまりを何という？

ア 行^{ぎょう} イ 章^{しょう} ウ 連^{れん} エ 文^{ぶん} こたえ _____

4 短歌の音の並びは「五・七・□・七・七」。□に入る数は？

こたえ _____

5 「木々が手を振る」は何という表し方？

ア 体言止^{たいげん と}め イ 季語^{きご} ウ ぎ人法^{じんぼう} エ たとえ(比喩^{ひゆ}) こたえ _____

6 「にこにこ」「ふわふわ」のように様子を表す言葉を何という？

ア 体言止^{たいげん と}め イ ぎ態語^{たい ご} ウ ぎ音語^{おんご} エ 季語^{きご} こたえ _____

7 短歌の音の並びは「□・七・五・七・七」。□に入る数は？

こたえ _____

8 五音や七音のくり返しが生むのは？

ア 一枚^{いちまい}の絵^え イ ここちよいリズム^{けいさんもんだい} ウ 計算問題^{けいさんもんだい} エ 答え^{こた}の数字^{すうじ} こたえ _____

9 「ざあざあ」「きらきら」のように音や様子を表す言葉を何という？

ア オノマトペ(ぎ音語^{おんご}・ぎ態語^{たい ご}) イ 季語^{きご} ウ ぎ人法^{じんぼう} エ 体言止^{たいげん と}め こたえ _____

10 詩を作るとき、心が動いたしゅんかんをどうする？

ア すぐ^{わす}忘れる イ 他人^{たにん}のを写^{うつ}す ウ 数字^{すうじ}にする エ よく^{おも}思い出^だして言葉^{ことば}にする

こたえ _____

11 次のうち、ぎ人法はどれ？

ア 花^{はな}が笑^{わら}う イ 花^{はな}を見^みる ウ 花^{はな}が赤^{あか}い エ 花^{はな}が咲^さく こたえ _____

12 ^し詩を ^{こえ}声に ^だ出して ^よ読むと ^{あじ}味わえるのは？

^{ことば}ア 言葉の ^{ひび}響きや ^{リズム}リズム ^{かず}イ ページの ^{ねだん}数 ^{けいさん}ウ 値段 ^{こたえ}エ 計算の 答え ^{こたえ} _____

13 ^ご五・^{しち}七・^ご五の ^{おん}17音で ^{つく}作り、^{きご}季語を ^い入れる ^{みじか}短い ^し詩は？

^{たんか}ア 短歌 ^{ものがたり}イ 物語 ^{さくぶん}ウ 作文 ^{はいく}エ 俳句 ^{こたえ} _____

14 ^{うみ}「海だ ^{うみ}海だ」と ^{おな}同じ ^{ことば}言葉を ^{かえ}くり返すのは ^{なに}何のため？

^じア 字を ^へ減らすため ^わイ ページを ^{いみ}分けるため ^けウ 意味を ^け消すため

^{ぶぶん}エ その ^{つよ}部分を ^だ強めて ^{リズム}リズムを ^{出す}出すため ^{こたえ} _____

15 ^{はいく}俳句は ^ご五・^{しち}七・^ご五の ^{おん}音で ^{ぜんぶ}できています。^{なんおん}全部で ^{なんおん}何音？

^{こたえ} _____

16 ^{はいく}俳句の ^{おん}音の ^{なら}並びは「^ご五・^ご□・^ご五」。□に ^{はい}入る ^{かず}数は？

^{こたえ} _____

17 ^{はいく}俳句に ^{よみこむ}よみこむ、^{きせつ}季節を ^{あらわ}表す ^{ことば}言葉を ^{なん}何という？

^{だいめい}ア 題名 ^{さくしゃ}イ 作者 ^{きご}ウ 季語 ^{れん}エ 連 ^{こたえ} _____

18 ^し詩の ^{だいめい}題名には、^{はたら}どんな ^{はたら}働きがある？

^{さくしゃ}ア 作者の ^{じゅうしょ}住所を ^{しめ}示す ^しイ 詩の ^{なかみ}中身を ^{そうぞう}想像させる ^{すう}ウ ページ数を ^ふ増やす ^{ねだん}エ 値段を ^{しめ}示す

^{こたえ} _____

19 ^{たんか}短歌の ^{おん}音の ^{なら}並びは「^ご五・^{しち}七・^ご五・^{しち}七・□」。□に ^{はい}入る ^{かず}数は？

^{こたえ} _____

20 ^し詩で ^{おな}同じ ^{ことば}言葉を ^{かえ}くり返すと、^{こうか}どんな ^{こうか}効果がある？

^うア ^{いんしょう}リズムが ^{つよ}生まれ、^{いんしょう}印象が ^{つよ}強くなる ^{じすう}イ ^へ字数が ^へ減る ^{いみ}ウ ^{いみ}意味が ^{いみ}なくなる

^よエ ^よ読めなく ^よなる ^{こたえ} _____

こたえ しょう4 こくご「詩・短歌を読む」 その2

- | | | | |
|----|-------------------|----|------------------------|
| 1 | ウ もみじ | 11 | ア 花が 笑う |
| 2 | 31 | 12 | ア 言葉の 響きや リズム |
| 3 | ウ 連 | 13 | エ 俳句 |
| 4 | 5 | 14 | エ その 部分を 強めて リズムを 出すため |
| 5 | ウ ぎ人法 | 15 | 17 |
| 6 | イ ぎ態語 | 16 | 7 |
| 7 | 5 | 17 | ウ 季語 |
| 8 | イ ここちよい リズム | 18 | イ 詩の 中身を 想像させる |
| 9 | ア オノマトペ(ぎ音語・ぎ態語) | 19 | 7 |
| 10 | エ よく 思い出して 言葉に する | 20 | ア リズムが 生まれ、印象が 強くなる |